

歴史文化保存展示施設基本計画 概要版(案)

1 歴史文化保存展示施設の整備について

浜田市は、豊かな自然と歴史文化に育まれ、多くの遺産があります。これらの遺産を未来に伝え残していくことが求められています。そのため、平成12年(2000年)から「博物館」について議論されてきましたが、様々な問題から実施には至らず、長年の懸案でした。
令和元年(2019年)の浜田開府400年を契機に、歴史文化の保存・継承やふるさと郷育、市民や観光客の交流が大切であるとして、整備に向けた検討を進めました。

2 現状の課題

- (1) 浜田市には、歴史民俗資料館等の施設が6施設ありますが、多くは老朽化が進んでいます。
- (2) 特に浜田郷土資料館は、築60年以上経過し老朽化が著く、展示スペースも狭いことから所蔵資料の多くが展示できない状況にあります。



市内にある歴史民俗資料館等の施設

3 施設整備の方針

施設整備については、令和2年(2020年)2月に整備の方向性や整備の場所、整備費・運営費等について検討し、「歴史文化保存展示施設の整備方針」(以下「整備方針」という。)を定めました。
この整備方針では、市内各施設全体の整備方針の中で、浜田郷土資料館を建替え整備するものとし、世界こども美術館創作活動館に増設するものとしています。

■ 市内各施設全体の整備方針

- 市内各施設についての整備方針は、下記のとおりとしました。
- (1) 各施設の中核施設である浜田郷土資料館を建替え整備します。所蔵する各地域の関連資料も展示し、各地への案内機能も持たせます。
 - (2) 各地域にある民俗資料等は、できるだけ当該地域で見てもらえるようにすることにし、現在、支所等の空きスペースを活用して展示しています。
 - (3) 金城民俗資料館、金城歴史民俗資料館は、指定管理者が管理していること等から、現行のまま存続し、他の資料館は、当面、資料の保管施設として利用し、調査・研究等のニーズに対応します。

■ 新施設の整備方針

- 世界こども美術館創作活動館に増設等を行う施設の内容は、次のとおりです。
- (1) 世界こども美術館創作活動館の海側市有地に、歴史文化展示室等を新たに増設(520㎡)します。
 - (2) 世界こども美術館創作活動館を改修(333㎡)し、展示受付や収蔵庫を設けます。
 - (3) 世界こども美術館創作活動館の機能は維持します。



世界こども美術館創作活動館



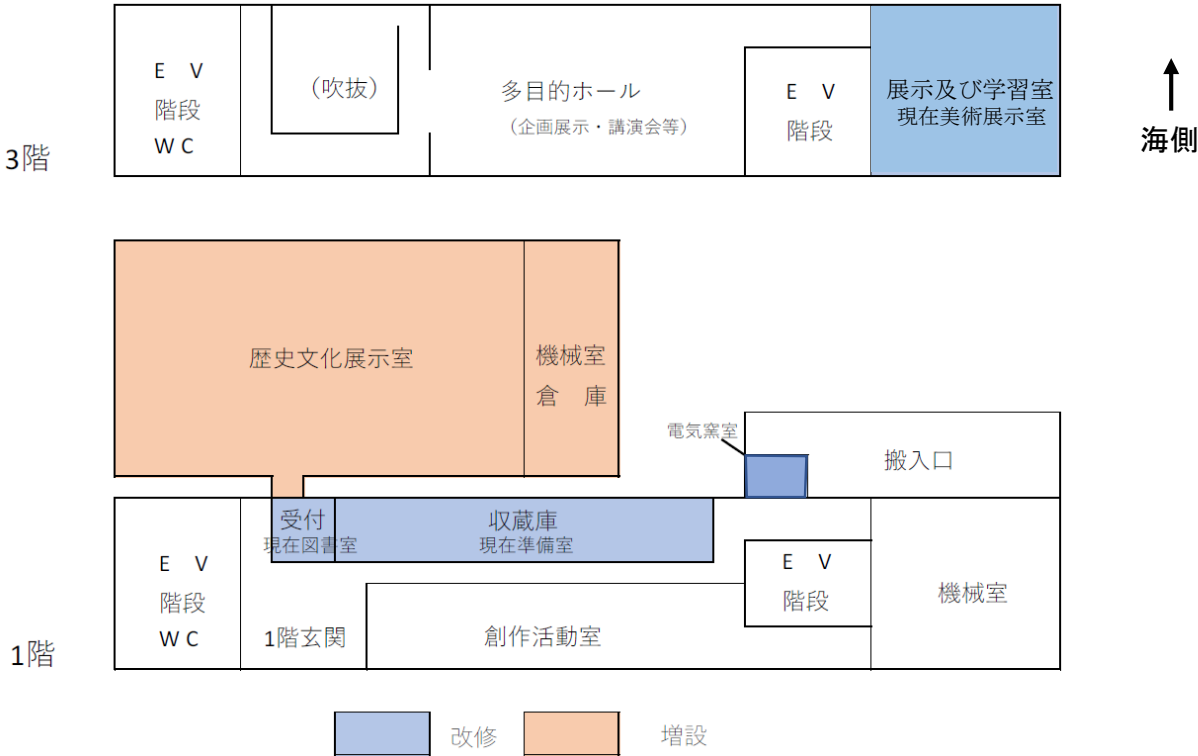
増設予定地(海側市有地)



整備位置と周辺関連施設

4 増設等の整備方法について

■ 増設・改修予定平面図



■ 増設建物の考え方

世界こども美術館創作活動館の建物は、「海に浮かぶ船 日本海に漂う創造と美の船」をイメージとしたものです。歴史文化保存展示施設を増設するにあたり、下記の点に配慮します。

- (1) 既存建物との調和が図られること
- (2) 3階多目的ホールから日本海の展望が確保できること

■ 増設部分及び改修部分の機能

工事種別	機能		備考
増設部分	歴史文化展示室	常設展示室	浜田の特徴を理解するための歴史文化展示スペース
		企画展示室	テーマを設定し企画展示等を行うスペース
		エントランスホール	常設展示室と企画展示室の導入部分のホールとしながら、浜田を紹介する展示スペース
	機械室・倉庫	倉庫	展示備品保管のためのスペース
		機械室	空調等の機械設備類設置スペース
	渡り廊下		世界こども美術館創作活動館との接続廊下スペース
改修部分	受付		来館者の管理、対応及び学芸員のためのスペース
	展示及び学習室		展示や学校・団体利用のスペース
	収蔵庫		資料を保存するためのスペース

5 歴史文化保存展示施設の考え方

整備方針では、次の役割を担う必要不可欠な施設としています。

- (1) 歴史・文化の保存・継承の拠点
- (2) ふるさと郷育の拠点
- (3) 市民や観光客の交流拠点

これらの考え方と世界こども美術館創作活動館の考え方を踏まえながら、下記を基本的な考え方とします。

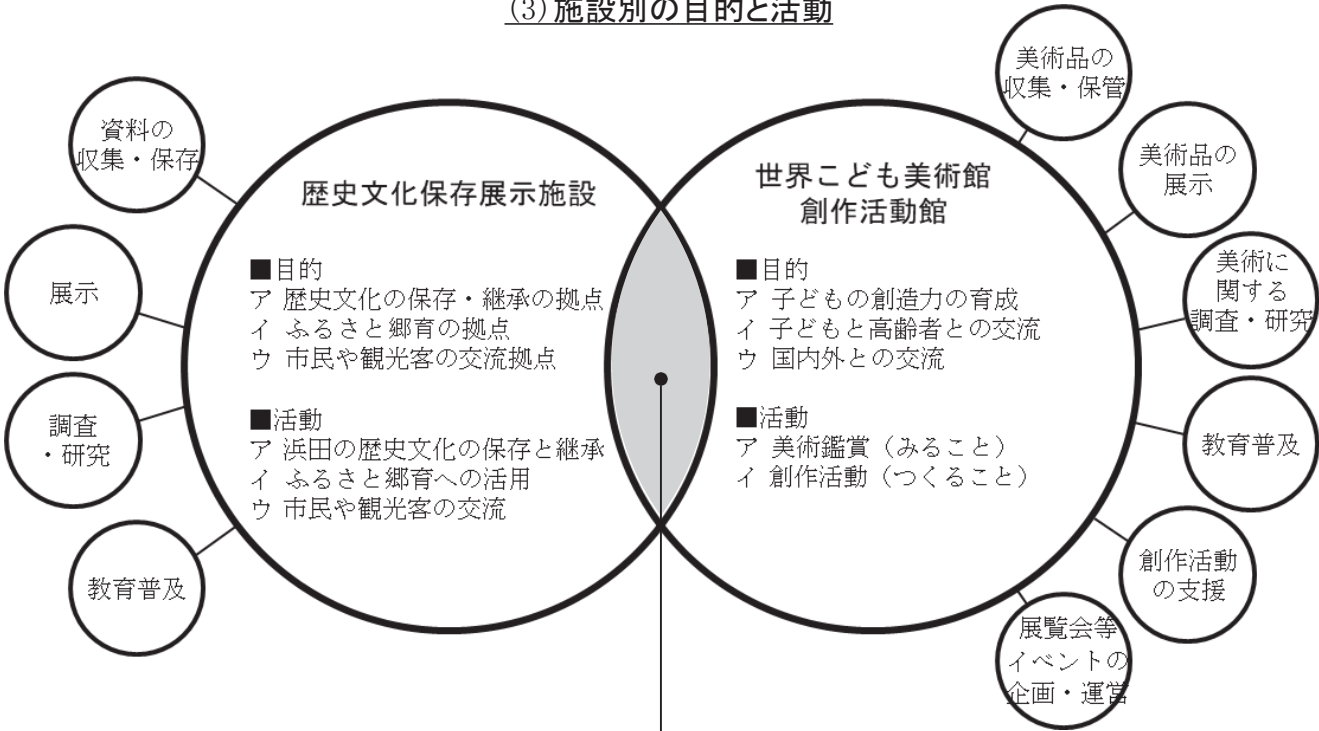
(1) 基本理念

ふるさと浜田の魅力探求と未来への創造力を育む

(2) 使命

- ・ふるさとの歴史文化 美術を未来につなぐ
- ・ふるさとへの愛着と誇りを育む
- ・世界やふるさとから創造性や感性を育む
- ・子どもたちと各世代との交流
- ・世界的な視点と交流から国際性を育む

(3) 施設別の目的と活動

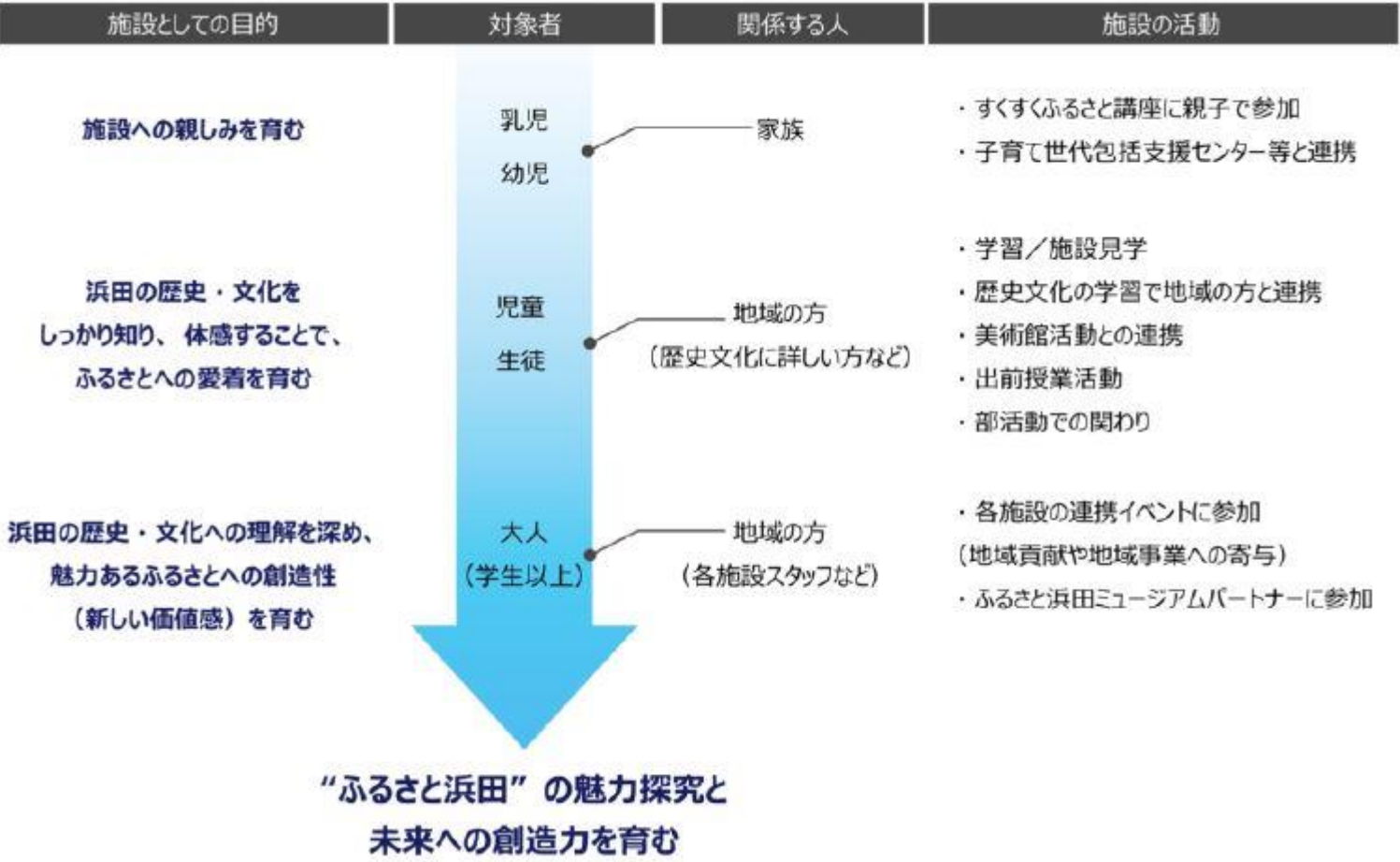


(4) 活動方針

- ・子どもたちが分かりやすく、興味や好奇心を呼び起こす活動
- ・親子や各世代と楽しく学ぶ活動
- ・学校教育との連携により教育効果を高める活動
- ・世界的な視点と交流から国際性を育む活動

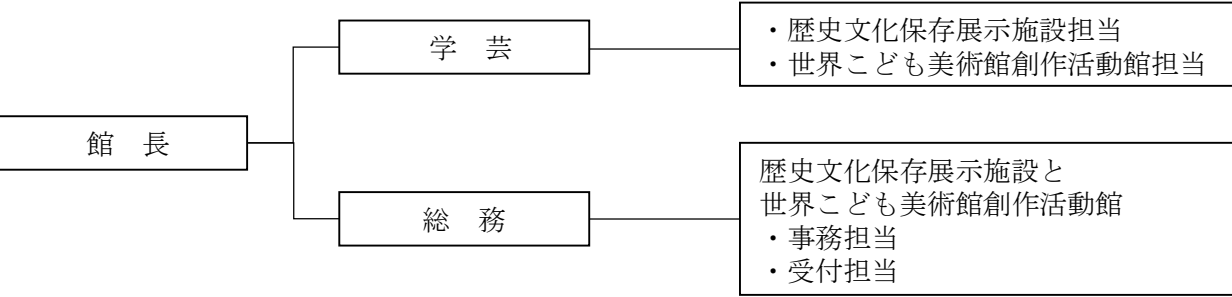
■ ターゲットについて

歴史文化保存展示施設が軸におくべきターゲットは、学校との連携による「児童・生徒」の年代を中心としながら、「地域の博物館」として、すべての年代に対して、生涯を通して活用してもらえる施設とします。



■ 組織体制

組織体制は、効率的で経費を圧縮できるようにしていきます。



6 活用計画

■ 活動内容

浜田市の歴史に触れ、文化を感じるとともに、世界・日本の歴史文化を身近に感じる活動とします。

1. 浜田の歴史文化の保存と継承

展示活動

▶学芸員中心の活動

常設展示

全国的な時系列とともに浜田の歴史を体感することができる体験展示を行う。

企画展示

浜田の歴史を分野別に紹介する企画展示を行う。

資料管理・調査研究活動

▶学芸員中心の活動

展示資料研究活動

収蔵されている考古・文書・民具などに関する調査研究活動を行い、展示や各活動などへ反映する。

2. ふるさと郷育の拠点

学校教育に関わる活動

▶学芸員等＋学校による活動

ふるさと学習活動（学校の見学受け入れ）

市内の学校向けに、学芸員の口頭解説やタブレットを活用しながら展示室を見学してもらう。

ふるさと工作活動

美術館のミュージアムスクールと連携。施設の見学後は資料の観察結果を工作につなげる。

教材提供活動

学芸員が学校の授業に合わせた資料作成の相談、資料を提供、共同開発などを行う。

出前授業活動

学芸員が地域の学校へ出向いて単元に沿った資料などを持ち込み授業の提供を行う。

生涯学習に関わる活動

▶学芸員等＋市民による活動

ふるさと講座（学芸員 or 市民による歴史講座）

学芸員だけでなく、外部講師や地域の歴史文化に詳しい方が先生となり浜田の歴史紹介を行う。

すぐすぐふるさと講座（未就学児向け歴史文化体験）

0歳～3・4歳（年中を想定）は神楽の音を体感させる。
4歳～6歳（年長を想定）は浜田の歴史文化を紙芝居などで紹介したり、作ったりする。
子育て世代包括支援センターと連携し、四季折々に親子で参加できるプログラムを実施。

ふるさと浜田ミュージアム・パートナー（市民による博物館活動への参画）

各人の興味関心ごとに分かれて活動し、ミュージアム活動に参加する。

3. 市民や観光客の交流拠点

交流に関わる活動

▶市の施設全体に関わる活動

情報提供と他施設との連携（観光施設、資料館などの関連施設との連携）

市民同士や市民と観光客の交流を促進させるため、情報を提供。

■ 活動スケジュール

活動にあたっては、短期、中期、長期と段階を踏みながら始動し、見直しを図りつつ展開していきます。

		短期 (開館年～3年目)	中期 (4年目～6年目)	長期 (7年目以降)
		*展示・資料研究活動を主体に活動	*学校教育との連携を強化	*観光交流との連携を強化
学芸員中心の活動	展示活動	実施		再始動
	企画展示	実施		再始動
	資料管理・調査研究活動	実施		再始動
学校・市民・他施設との連携活動	学校教育に関わる活動			
	ふるさと学習活動 (学校の見学受け入れ)	実施		
	ふるさと工作活動	準備期間	実施	
	教材提供活動	準備期間	実施	
	出前授業活動	準備期間	実施	
	生涯学習に関わる活動			
	ふるさと講座 (学芸員 or 市民による歴史講座)	実施		
	すくすくふるさと講座 (未就学児向け歴史文化体験)	準備期間	実施	
	ふるさと浜田 ミュージアム・パートナー (市民による博物館活動へ参画)	準備期間	実施	
	交流に関わる活動	準備期間	実施	

7 展示計画

■ 展示室の考え方

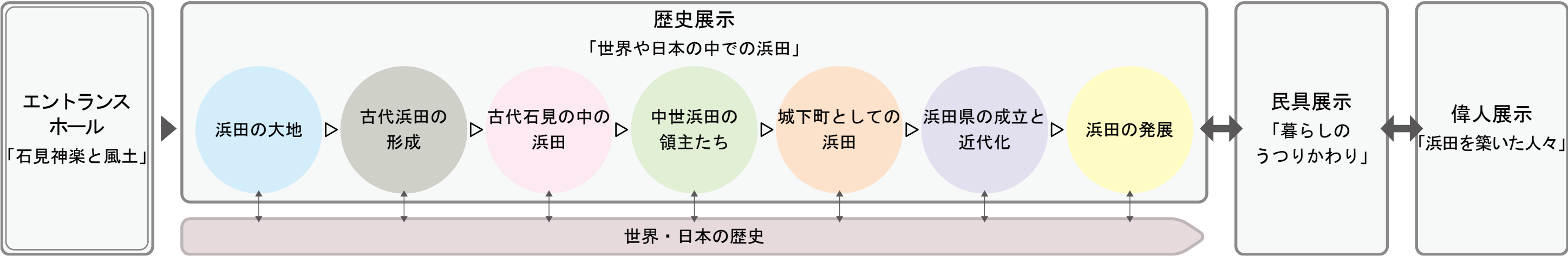
- (1) 常設展示室
浜田市の歴史を時系列でたどる通史展示を中心に、世界・日本の歴史と照らし合わせながら浜田市の特徴を紹介します。
- (2) 企画展示室
季節や時期でテーマを変えながら、常設展示とは異なる切り口で資料やトピックを展示し、浜田市の歴史文化を掘り下げて紹介します。

■ 常設展示のテーマ・展示構成

「ふるさと浜田の歩みをたどる、歴史郷育ミュージアム」

- (1) 市民にとって象徴的な「石見神楽と風土」を導入に、地形のなりたちから貴族・武士の時代、そして現代へと、時間軸で浜田市の足跡をたどる展示構成とします。
 - (2) 世界・日本の歴史と浜田市の歴史を照らし合わせながら、歴史の中での浜田市の特徴とまちの移り変わりを知ることができるものとします。
- ※「浜田市」とは、現在の浜田市の市域とすることで、市内の子どもたちがふるさとを意識してもらえるものとします。

【展示ストーリー】



■ 常設展示で取り扱う展示項目

浜田市特性を主軸とした展示を展開します。

- ◆ 山に抱かれ、海に開かれた環境を有する浜田市
中国山地に抱かれた里山文化と海への展開ー浜田のイメージ
- ◆ 石見における政治的中心を担った浜田市
古代寺院や石見国分寺が示す石見の中心地、山城が示す中世の領主たち、
絵図や甲冑等が示す近世の浜田藩の城下町や津和野藩、写真などが示す
近代の浜田県成立や軍都
- ◆ 山間での生産と港の発展に支えられた浜田市
中世の港と朝鮮王朝や日本海沿岸地域との交易、近世の北前船寄港地等
で流通した津和野藩領内等の地場産業(石州半紙、たたら製鉄、石見焼)
- ◆ 文化を継承する浜田市
石見神楽や田囃子
- ◆ 偉人を輩出する浜田市
政治や文化、芸術等で活躍

石見神楽と風土

- ・石見神楽のイメージ
- ・浜田の自然・風景

浜田の大地

- ・石見畳ヶ浦と日本海の形成
- ・黄長石霞石玄武岩と長浜大地 など

古代石見の中の浜田

- ・石見国分寺・国分尼寺と石見国府
など

城下町としての浜田

- ・浜田藩と津和野藩
- ・浜田城とその城下
- ・参勤交代
- ・文化と暮らし
- ・浜田落城 など

浜田県の成立と近代化

- ・浜田県と浜田地震
- ・軍都としての浜田
- ・山陰線の開通と浜田 など

暮らしのうつりかわり

- ・暮らしの道具 (民具など)
- ・民俗や習俗 (石見神楽、田囃子、
大名行列) など

古代浜田の形成

- ・弥生・古墳からみる地域の形成
- ・古墳から寺院へ など

中世浜田の領主たち

- ・浜田の領主と山城
- ・中世の港と海外交易 など

北前船寄港地・浜田

- ・浜田の港
- ・浜田の地場産業と流通
(石州半紙、たたら、石見焼、
石州瓦、長浜人形) など

浜田の発展

- ・戦争から平和な暮らしへ
- ・「まち」の移り変わり など

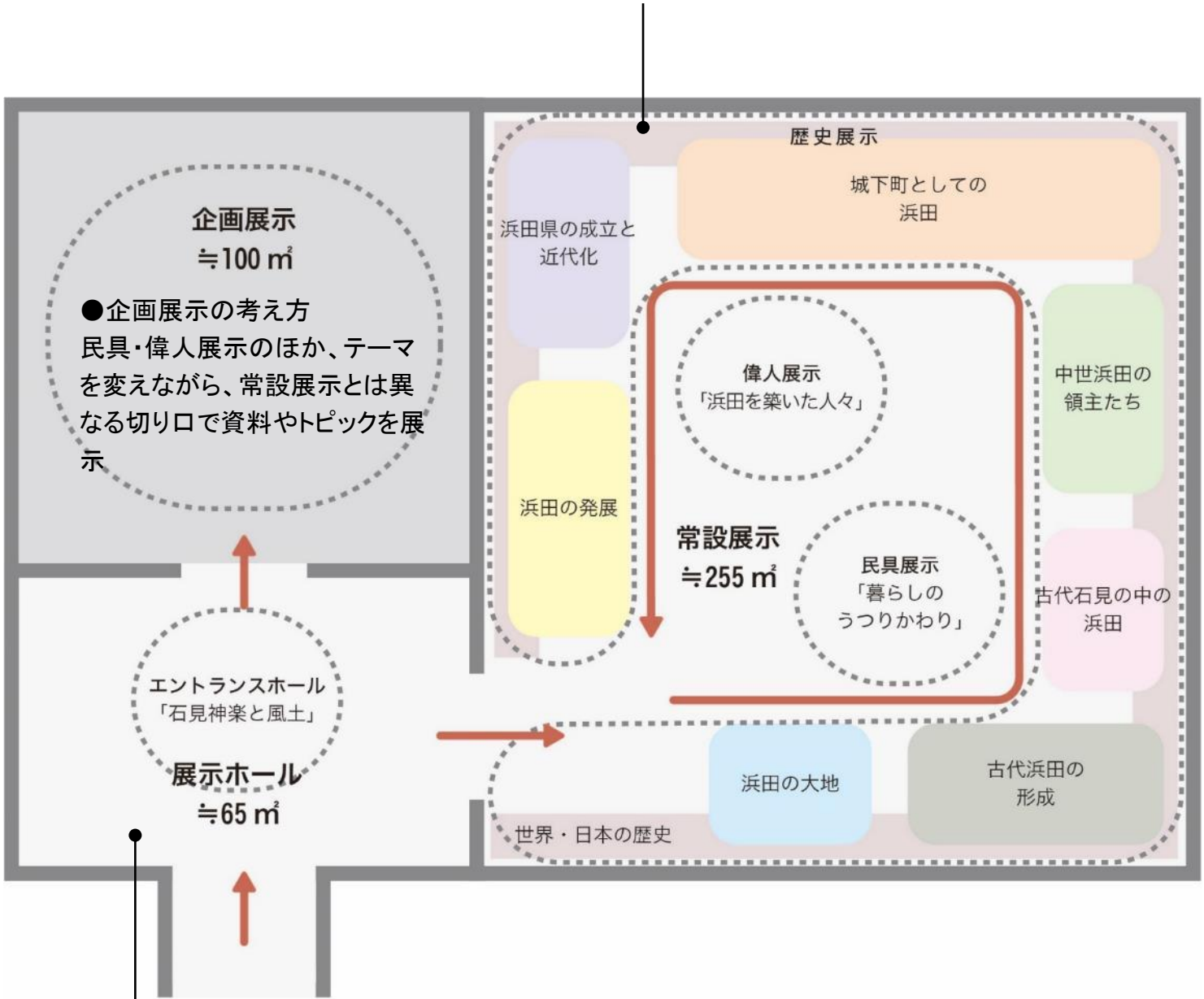
浜田を築いた人々

- ・政治や文化などで
活躍した人物

■ 展示室の概念図(床面積≒420 m²)

● 常設展示の考え方

空間全体を使って浜田市の歴史を時系列に展開。また、世界・日本の歴史と浜田市の歴史を照らし合わせながら、浜田市の特徴とまちの移り変わりを知る。



● エントランスホールの考え方

市民に親しまれている「石見神楽」や「自然」をテーマとした象徴的な展示を導入空間に展開。市民への求心的な役割をもたせるとともに、奥へと続く展示室への期待感を醸成します。

参考資料 年間活動スケジュール

